



整形外科的所見、神経疾患、QOL
リハビリテーション、福祉機器
発達心理、家族心理、成人期支援

肢体不自由児療育のプロから学ぶ

WEB講義
&
実技指導

療育指導者講習会2025

肢体不自由の子どもと家族を理解し、支援のできる職員の育成を目的として開催します。
子どもたちのために一歩踏み出してみませんか？

対象 肢体不自由児・家族と接する職員等
(特別支援学校教員、理学療法士、作業療法士、看護師、保健師、言語聴覚士、保育士、社会福祉士、介護士等)

定員 WEB配信：上限なし
集合開催の研修：30名程度

費用 5,000円/回

※受講費用は肢体不自由の子供たちに関する県内への地域啓発、
知識普及活動に寄付として活用されます。

内容 肢体不自由児を支援するために必要な知識・技能の習得

※研修内容詳細は、QRコードからご覧ください。

※WEB講義は配信期間中、繰り返し視聴ができます。

※内容が関連しているため、講義と実技のセット受講を推奨しています。
(ご都合に合わせてるように個別でも受講ができるようにしています。)



※研修内容詳細はホームページ
療育指導講習会要綱をご確認ください。

7月	(講義1) 肢体不自由児総論 概論・障害児の教育・神経疾患の理解・補装具や車いす	講義60分×4	WEB 配信 (7/1～7/25)
	(実技1) 障害児の理学療法 理学療法士から肢体不自由児のリハビリテーションについて学ぶ	9:00～16:00予定	7/26(土) 静岡済生会療育センター令和 (静岡市駿河区曲金5-3-30)
8月	(講義2) 障害児とのかかわり 障害児の心理面の理解、家族心理、訓練の基礎	講義60分×4	8/29(金) シズウェル (静岡市葵区駿府町1-70)
	(実技2) 障害児の理学療法2 理学療法士から肢体不自由児のリハビリテーションについて学ぶ	9:00～16:00予定	8/30(土) 静岡済生会療育センター令和 (静岡市駿河区曲金5-3-30)
9月	(講義3) 脳性麻痺 障害児者の健康管理・てんかんの理解・手術の対応 ・成人期の支援	講義60分×4	WEB 配信 (9/1～9/26)
	(実技3) 成人期の理学療法 理学療法士から肢体不自由児者【成人期】のリハビリ テーションについて学ぶ(拘縮・変形、身体機能の維持、 支援者のセルフケア)	9:00～16:00予定	9/27(土) 静岡済生会療育センター令和 (静岡市駿河区曲金5-3-30)

お問合せ



054-254-5231

shitaikyo@shizuoka-wel.jp

担当：望月

申込はこちら

6月27日(金)まで



【昨年の受講者の感想】

仕事で実践できそうな話をたくさん聞くことができよかったです。

身体づくりなど専門的な部分は難しく未知ではありましたが実技もあってわかりやすかったです。身体の成り立ちについてもっと知りたいと思いました。

明日からすぐに役立てられそうな知識や情報ばかりでした。内容がとても楽しく時間が経つのが早く感じられました。筋肉や骨格のメカニズム等興味深いけれど知らなかった内容が有意義な講義でした。

肢体不自由児ってどんな子？ 支援者にはどんな専門性が必要？



【医療・福祉のスペシャリストから学べます】

※順不同

静岡県立こども病院 整形外科 医師 滝川 一晴 氏

整形外科科長、小児整形外科の専門医。日本小児整形外科学会理事、静岡県肢体不自由児協会理事長。小児整形外科疾患に対する治療とリハビリテーションおよび研究により小児整形における中核として地域貢献に尽力している。

静岡てんかん・神経医療センター 医師 山崎 悦子 氏

療育指導科科長、脳神経内科医長。日本てんかん学会認定てんかん指導医。てんかんの専門診療をはじめ、患者様の生活の質の向上や継続した療育支援を目指した、医療従事者への教育活動にも尽力している。

伊豆医療福祉センター 施設長 医師 渡邊 誠司 氏

肢体不自由児・重症心身障害児への療育訓練や生活援助、外来診療、リハビリテーション、療育相談を実施し、地域の中核的な療育支援施設として、障害児や家族が安心して暮らせる地域づくりに尽力している。

静岡大学教育学部 教授 香野 毅 氏

特別支援教育および発達臨床心理を専門とする研究者・教育者。特別支援学校評議員。障害のある子供たちの発達心理や心理的支援に焦点をあて、地域の特別支援教育の充実や発展に尽力している。

静岡県立中央特別支援学校 元校長 渡邊 浩喜 氏

中央特別支援学校元校長。特別支援教育の分野において、肢体不自由や重複障害のある児童の教育に長年携わり、個々のニーズに応じた支援体制の構築や地域との連携強化に尽力している。

井出商会 代表 社会福祉士 井出 容敬 氏

福祉機器の販売、メンテナンスを手掛け、また当事者家族として、障害児やその家族個々のニーズに応じた最適な支援を検討しながら、生活の質の向上に寄与している。

静岡県立こども病院 整形外科 医師 藤本 陽 氏

小児整形外科の専門医、日本小児整形外科学会評議員、日本側弯症学会神経筋原性難治性側弯症委員、日本体育協会公認スポーツドクター。小児の側弯症等の脊椎疾患、希少疾患、スポーツ障害などの小児整形疾患への対応に尽力している。

社会福祉法人子羊学園重症心身障害児・者施設 つばさ静岡 施設長 医師 山倉 慎二 氏

日本小児科学会専門医、小児神経・障害児を専門とし、重症心身障害児者への意思決定支援や生活の質の向上に尽力している。

静岡済生会療育センター令和 医師 廣岡 敦子 氏

療育整形外科部長、整形外科専門医、運動器リハビリテーション専門医。整形外科的視点からの診療とリハビリテーション支援に尽力している。

静岡済生会療育センター令和 医師 渡邊 完 氏

整形外科専門医、小児整形外科においては装具外来を担当し、運動機能の向上や日常生活の自立支援に尽力、総合的な療育支援を提供している。

運動発達Labo すくすく 理学療法士 山内 一之 氏

運動発達支援や機能回復等の小児リハビリテーションに長年に携わり、数々の受賞歴がある第一人者として活躍している。子どもたちの成長のサポートとともにボイタ法※をはじめとした専門技術の普及に尽力している。

※小児神経科医ボイタ教授が確立した運動療法

静岡済生会療育センター令和 理学療法士 橋本 尚幸 氏

小児リハビリテーション分野を専門とする臨床家。ボイタ法※を中心とした神経発達アプローチに精通している。子どもたちの運動機能の向上や専門的な知識の普及にも尽力している。